

第22回 神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会

新型コロナウイルス感染防止に伴う 緊急事態宣言期間中の交通状況

- 新型コロナウイルス感染防止に向けた道路管理者・自治体による取り組み例
- 広域的な交通状況分析
- 緊急事態宣言期間中の主要渋滞箇所モニタリング結果
- ブロック間の交通流動分析

令和2年7月27日

4 新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言期間中の交通状況

4-1 新型コロナウイルス感染防止に向けた道路管理者・自治体による取り組み例

- 新型コロナウイルス感染防止に向け、県内では様々な取り組みを行い、不要不急の外出自粛を促した。
- 県内の道路上の看板設置や高速道路の休日割引のGWでの適用外、沿岸部への県外来訪者自粛に向けた呼びかけ等を実施した。

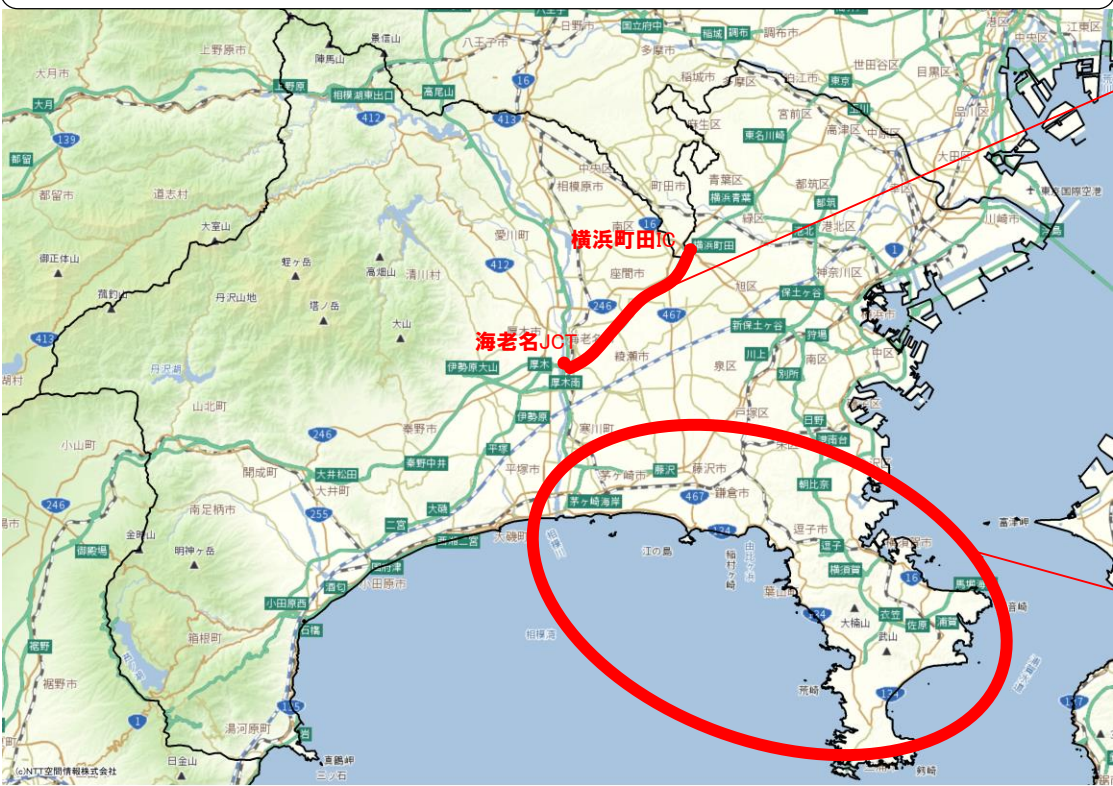
◇道路上に来訪自粛を呼びかける看板・横断幕を設置

新型コロナまん延防止のため、不要不急の外出は自粛を！！

▲横浜国道事務所管理道路の表示例



▲県管理道路の電光掲示板



◇高速道路の休日割引を適用せず

- ・ 地方の高速道路で普通車以下を対象に実施している休日3割引きをGW期間（4/29～5/6）に適用しない取組を実施

⇒昨年同時期に比べ、GWの高速道路交通量が大きく減少

東名高速道路 横浜町田IC～海老名JCT間の日平均交通量



出典：国土交通省HP

◇湘南・三浦半島等、沿岸部において来訪自粛の取組を実施

- ・ 道路上の掲示板にて来訪自粛看板を設置
- ・ 首長・日本サーフィン連盟等によるメディアやHP上での来訪自粛呼びかけ
- ・ 公営駐車場の閉鎖

⇒呼びかけ前に比べ、沿岸部の県外ナンバーの交通量が大きく減少

4 新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言期間中の交通状況

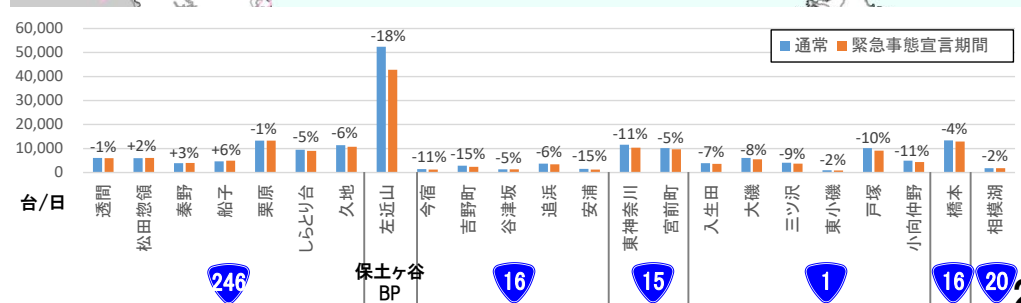
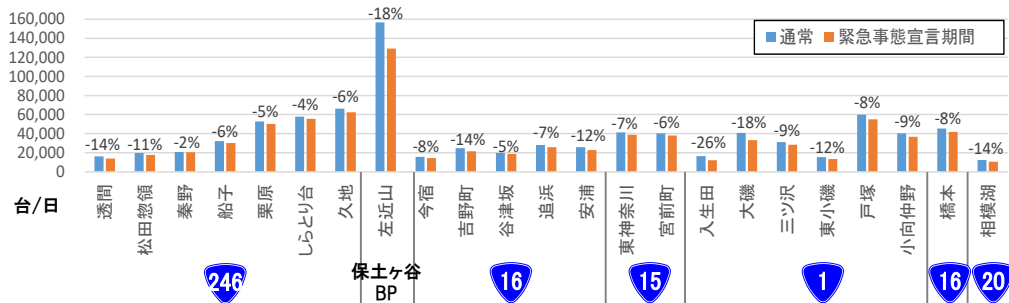
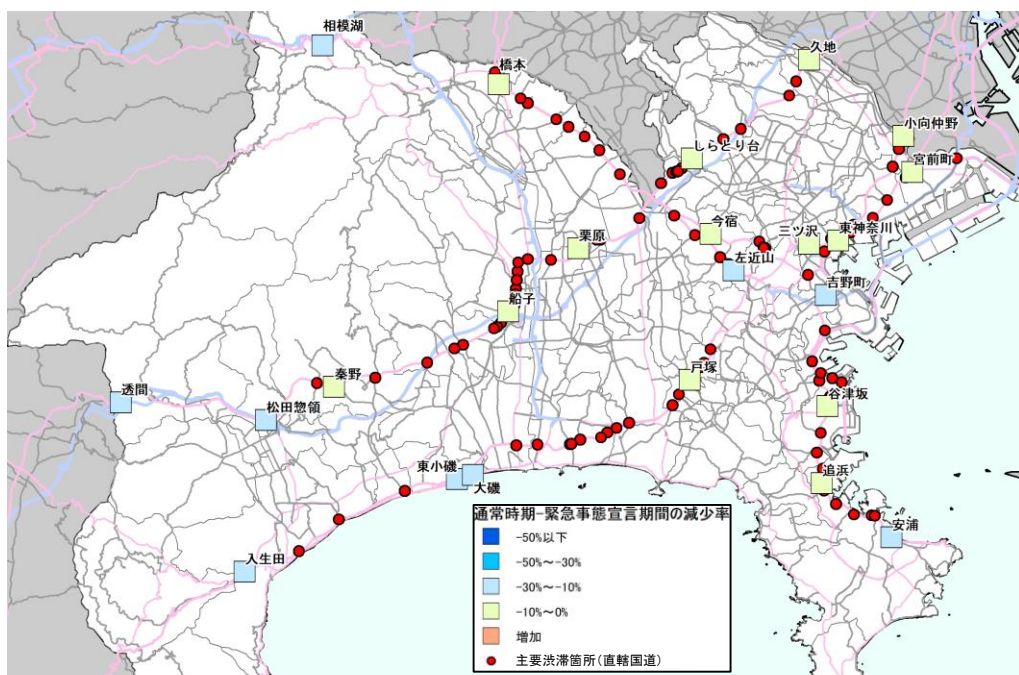
4-2 広域的な交通状況分析(平日交通量)

- 県内直轄国道に設置されているトラカン(直轄トラカン)データを使用し、交通量の変化を確認。
- 全車は、全体的に減少傾向だが、主要渋滞箇所が密集する県東側は-10%程度の減少に留まる箇所が多い。
- 大型車は、国道246号で増加傾向となっており、物流機能を維持する上での必要性が高いと考えられる。

○平日・全車交通量の変化

○平日・大型車交通量の変化

出典：直轄トラカンデータ
通常期：H31.4/9～R1.5/27
緊急事態宣言期間：R2.4/7～5/25



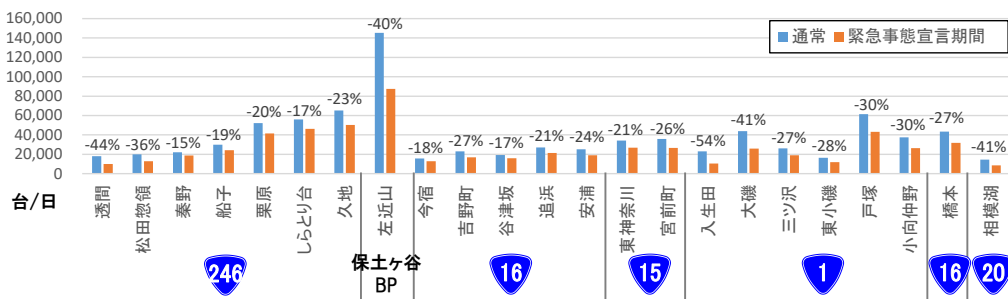
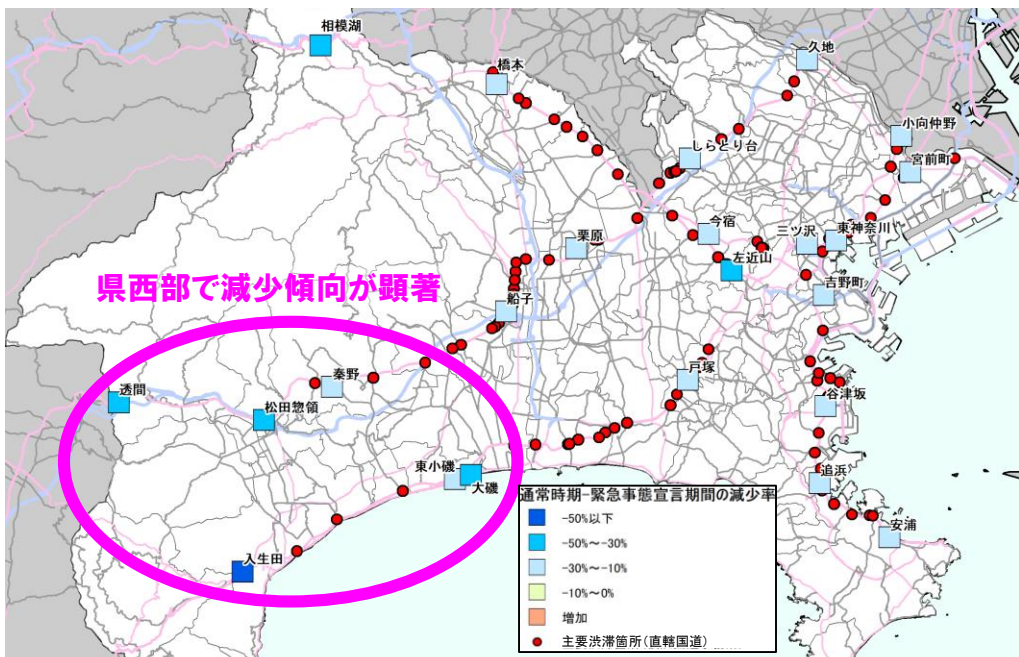
4 新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言期間中の交通状況

4-2 広域的な交通状況分析(休日交通量)

○休日は、とくに全車で平日に比べて減少傾向が顕著であり、とくに県西側で-30%以下の箇所が多い。外出自粛に伴う観光需要低下が要因と推察され、観光施設への主要幹線道路として機能していたことが伺える。

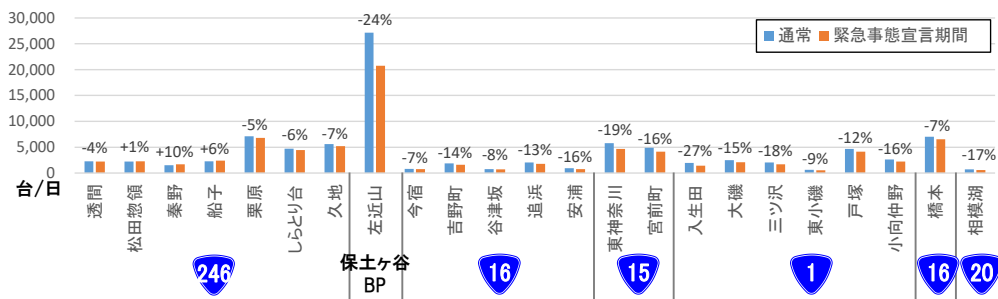
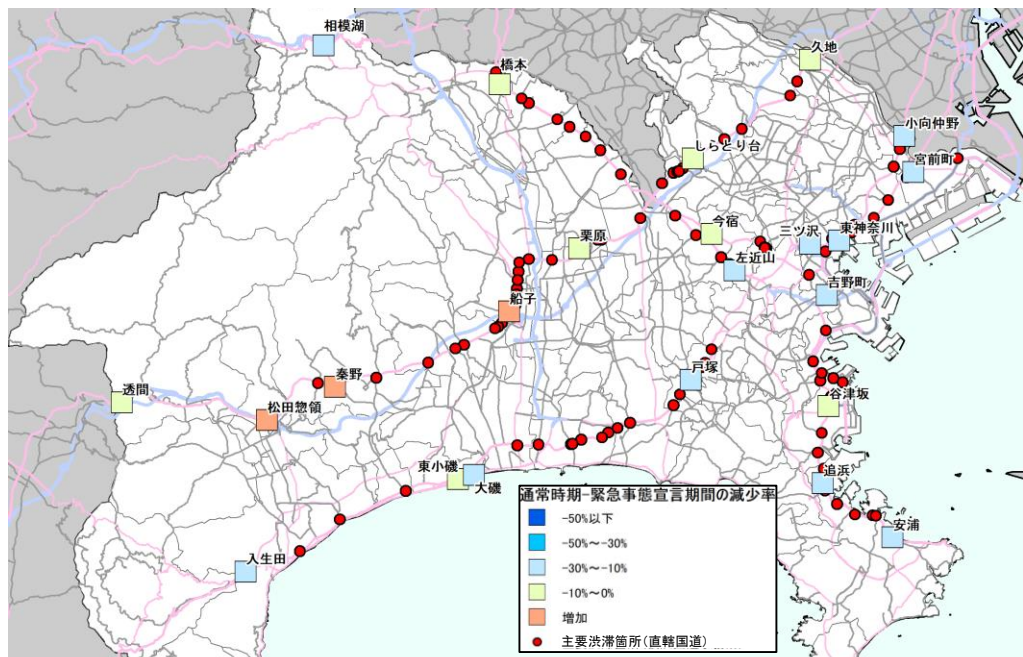
○大型車は、平日同様に国道246号で微増傾向であり、休日においても物流網としての重要性が伺える。

○休日・全車交通量の変化



○休日・大型車交通量の変化

出典:直轄トラカンデータ
通常期:H31.4/9~R1.5/27
緊急事態宣言期間:R2.4/7~5/25



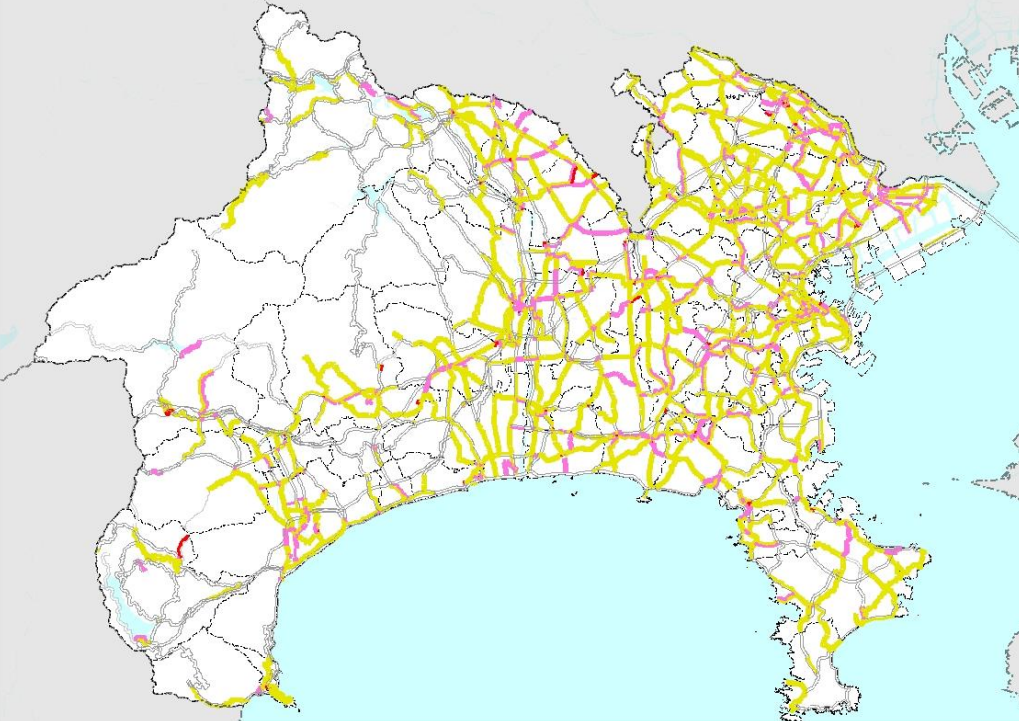
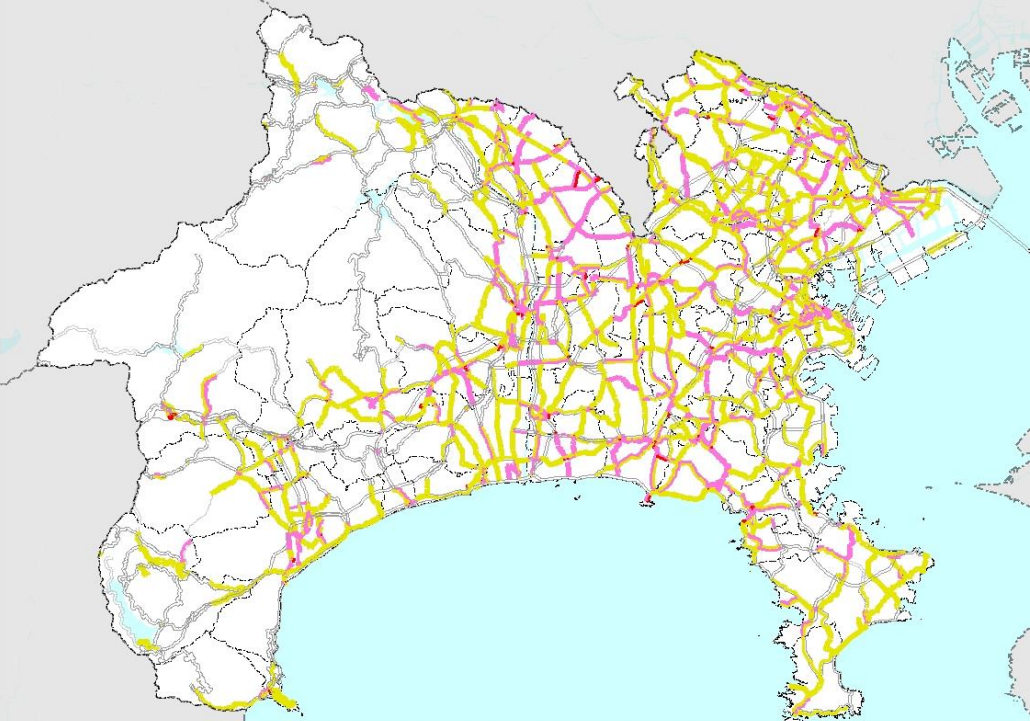
4 新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言期間中の交通状況

4-2 広域的な交通状況分析(平日旅行速度)

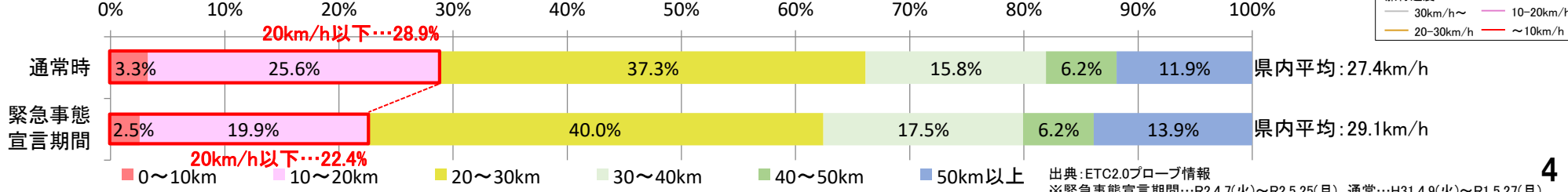
- 旅行速度が20km/h以下となる区間が減少。
- 旅行速度帯別にリンク数の割合を見ても、旅行速度が20km/h以下の低速度帯の区間が大きく減少。

○通常時の県内幹線道路の旅行速度
(平日平均:H31.4.9(火)~5.27(月))

○緊急事態宣言期間の県内幹線道路の旅行速度
(平日平均:R2.4.7(火)~5.25(月))



○旅行速度帯別のリンク数割合の変化(平日平均)



4 新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言期間中の交通状況

4-2 広域的な交通状況分析(休日旅行速度)

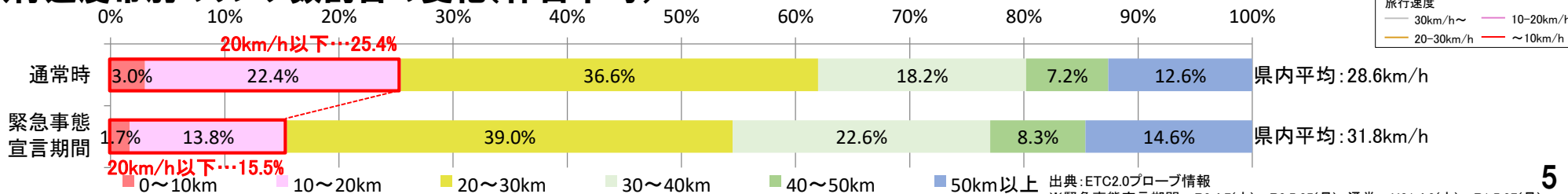
- 平日と同様に、旅行速度が20km/h以下となる区間が減少。
- 旅行速度帯別にリンク数の割合を見ても、旅行速度が20km/h以下の低速度帯の区間が大きく減少。

○通常時の県内幹線道路の旅行速度
(休日平均:H31.4.9(火)~5.27(月))

○緊急事態宣言期間の県内幹線道路の旅行速度
(休日平均:R2.4.7(火)~5.25(月))



○旅行速度帯別のリンク数割合の変化(休日平均)

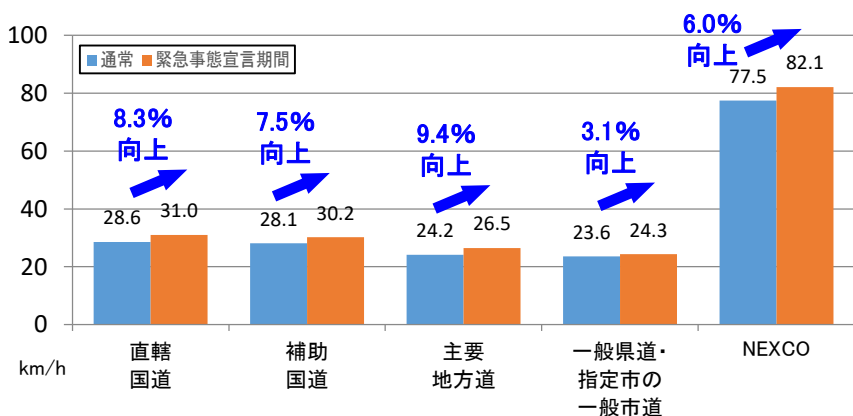


4 新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言期間中の交通状況

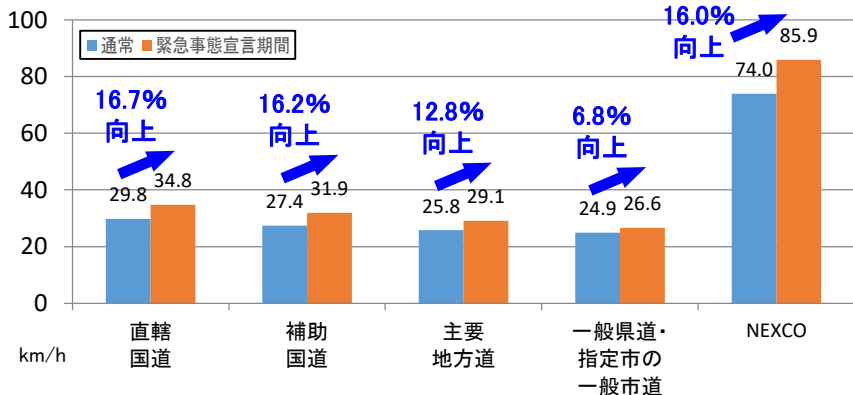
4-2 広域的な交通状況分析(道路種別別の旅行速度・交通事故)

- 道路種別別の旅行速度では、平日・休日ともに幹線道路(国道や主要地方道等)で旅行速度の向上が多くみられる一方、一般県道における旅行速度の向上幅は、他の道路と比べて小さい。
- 緊急事態宣言期間は、交通事故件数も大きく減少した。交通量の減少の影響が推測される。

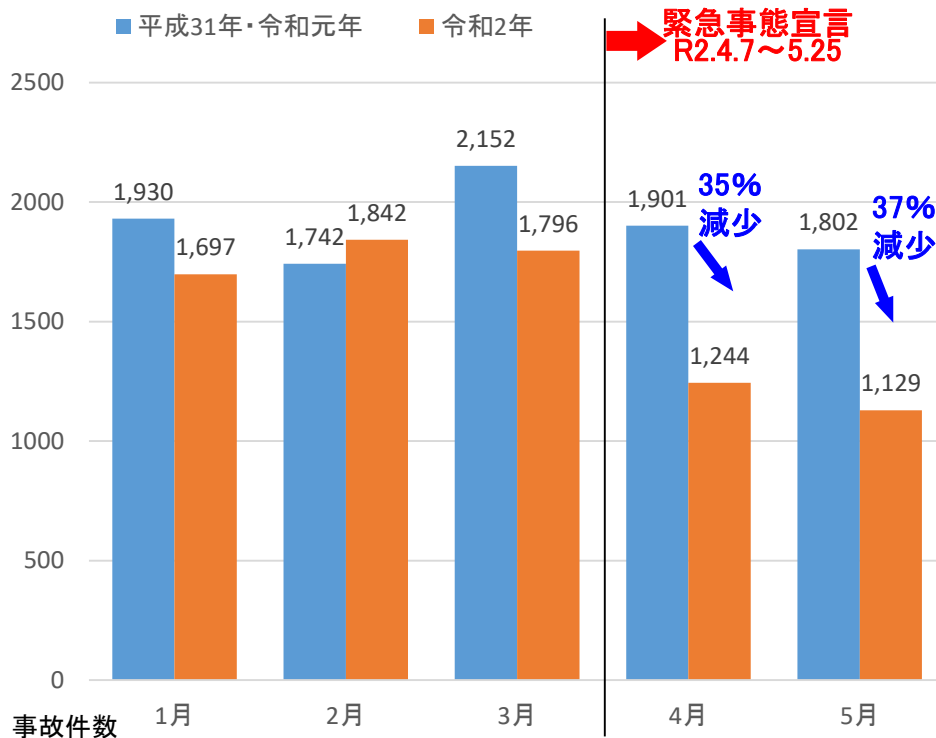
○道路種別別の平均旅行速度(平日)



○道路種別別の平均旅行速度(休日)



○交通事故件数



出典:ETC2.0プローブ情報
 ※緊急事態宣言期間…R2.4.7(火)~R2.5.25(月)、通常…H31.4.9(火)~R1.5.27(月)

出典:神奈川県警察本部HP

4 新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言期間中の交通状況

4-3 主要渋滞箇所におけるモニタリング指標の適合状況(直轄国道)

○モニタリング指標の基準値を満たす箇所数は、緊急事態宣言期間中は30箇所と、通常期の10箇所から大きく増加。

○とくに、国道246号厚木地域の主要渋滞箇所が連続する区間や国道1号戸塚～藤沢地域で顕著である。

■緊急事態宣言期間中においてモニタリング指標が基準値を上回る箇所

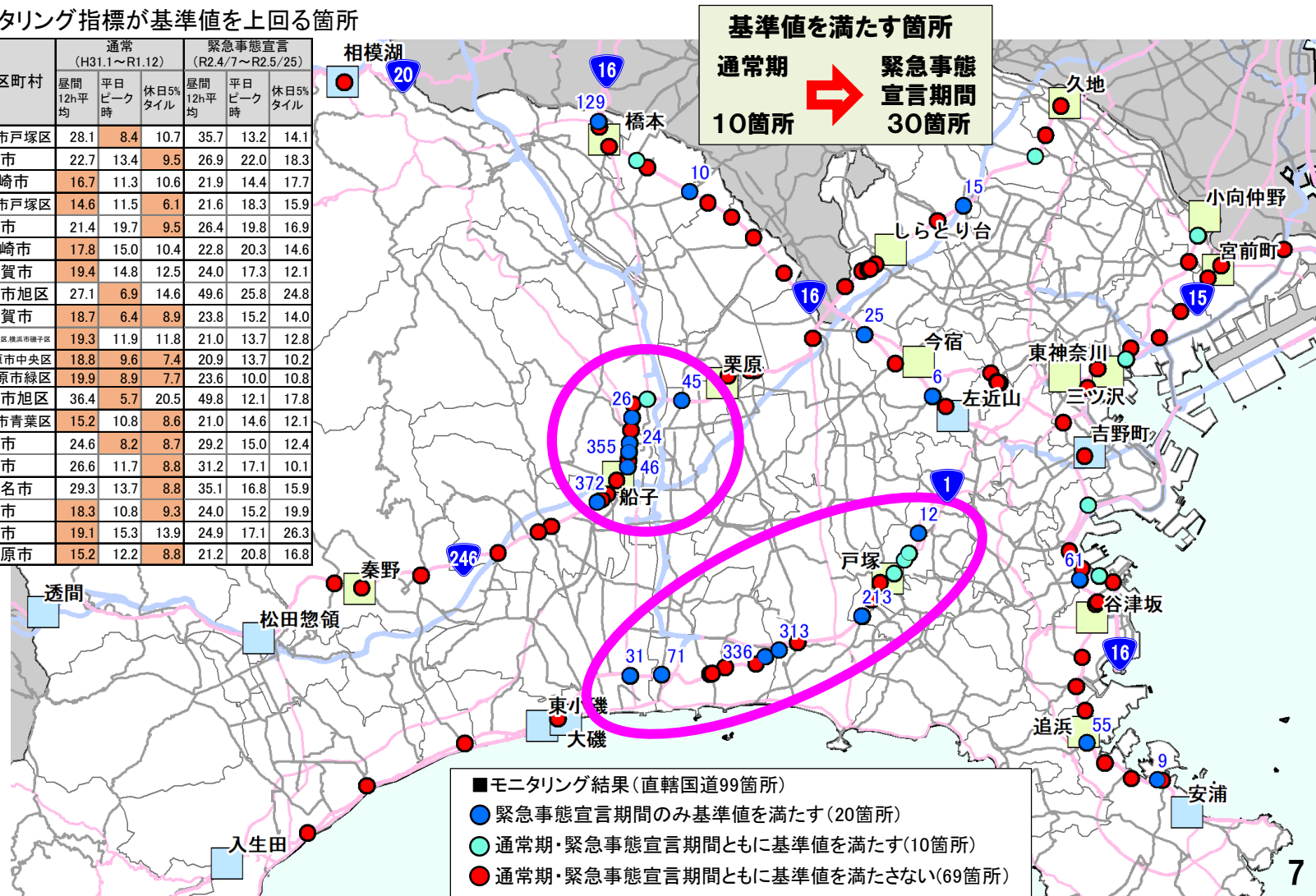
No	箇所名	路線名 (※箇所に関連する最上位種別の路線名)	市区町村	通常 (H31.1~R1.12)			緊急事態宣言 (R2.4/7~R2.5/25)		
				昼間 12h平均	平日 ピーク時	休日5% マイル	昼間 12h平均	平日 ピーク時	休日5% マイル
12	矢沢交差点	一般国道1号	横浜市戸塚区	28.1	8.4	10.7	35.7	13.2	14.1
31	榎木町交差点	一般国道1号	平塚市	22.7	13.4	9.5	26.9	22.0	18.3
71	産業道路入口交差点	一般国道1号	茅ヶ崎市	16.7	11.3	10.6	21.9	14.4	17.7
213	藤沢バイパス出口交差点	一般国道1号	横浜市戸塚区	14.6	11.5	6.1	21.6	18.3	15.9
313	ニッ谷バス停前交差点	一般国道1号	藤沢市	21.4	19.7	9.5	26.4	19.8	16.9
336	東小和田交差点	一般国道1号	茅ヶ崎市	17.8	15.0	10.4	22.8	20.3	14.6
9	本町一丁目交差点	一般国道16号	横須賀市	19.4	14.8	12.5	24.0	17.3	12.1
25	(仮称)上川井インター交差点	一般国道16号	横浜市旭区	27.1	6.9	14.6	49.6	25.8	24.8
55	船越町交差点	一般国道16号	横須賀市	18.7	6.4	8.9	23.8	15.2	14.0
61	青砥坂交差点	一般国道16号	横浜市金沢区 横浜市磯子区	19.3	11.9	11.8	21.0	13.7	12.8
10	淵野辺交差点	一般国道16号	相模原市中央区	18.8	9.6	7.4	20.9	13.7	10.2
129	(仮称)東急ストア前交差点	一般国道16号	相模原市緑区	19.9	8.9	7.7	23.6	10.0	10.8
6	本村インター交差点	保土ヶ谷BP	横浜市旭区	36.4	5.7	20.5	49.8	12.1	17.8
15	江田駅東交差点	一般国道246号	横浜市青葉区	15.2	10.8	8.6	21.0	14.6	12.1
24	水引交差点	一般国道246号	厚木市	24.6	8.2	8.7	29.2	15.0	12.4
26	妻田交差点	一般国道246号	厚木市	26.6	11.7	8.8	31.2	17.1	10.1
45	下今泉交差点	一般国道246号	海老名市	29.3	13.7	8.8	35.1	16.8	15.9
46	(仮称)温水沖田北側交差点	一般国道246号	厚木市	18.3	10.8	9.3	24.0	15.2	19.9
355	厚木郵便局前交差点	一般国道246号	厚木市	19.1	15.3	13.9	24.9	17.1	26.3
372	道了尊入口交差点	一般国道246号	伊勢原市	15.2	12.2	8.8	21.2	20.8	16.8

出典:ETC2.0プローブ情報
通常期:H31.1~R1.12
緊急事態宣言期間:R2.4/7~5/25

■直轄トランカ交通量



出典:直轄トランカデータ
通常期:H31.4/9~R1.5/27
緊急事態宣言期間:R2.4/7~5/25



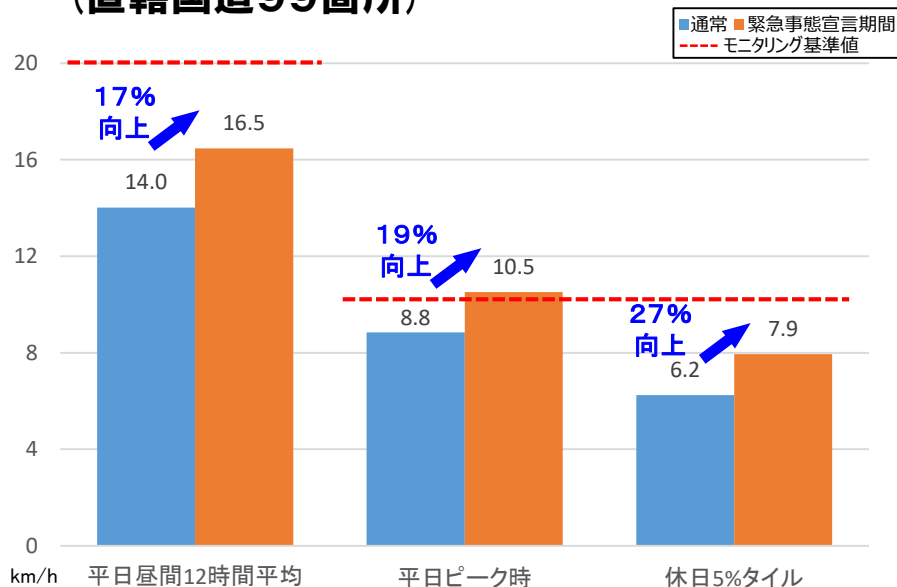
- モニタリング結果(直轄国道99箇所)
- 緊急事態宣言期間のみ基準値を満たす(20箇所)
- 通常期・緊急事態宣言期間ともに基準値を満たす(10箇所)
- 通常期・緊急事態宣言期間ともに基準値を満たさない(69箇所)

4 新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言期間中の交通状況

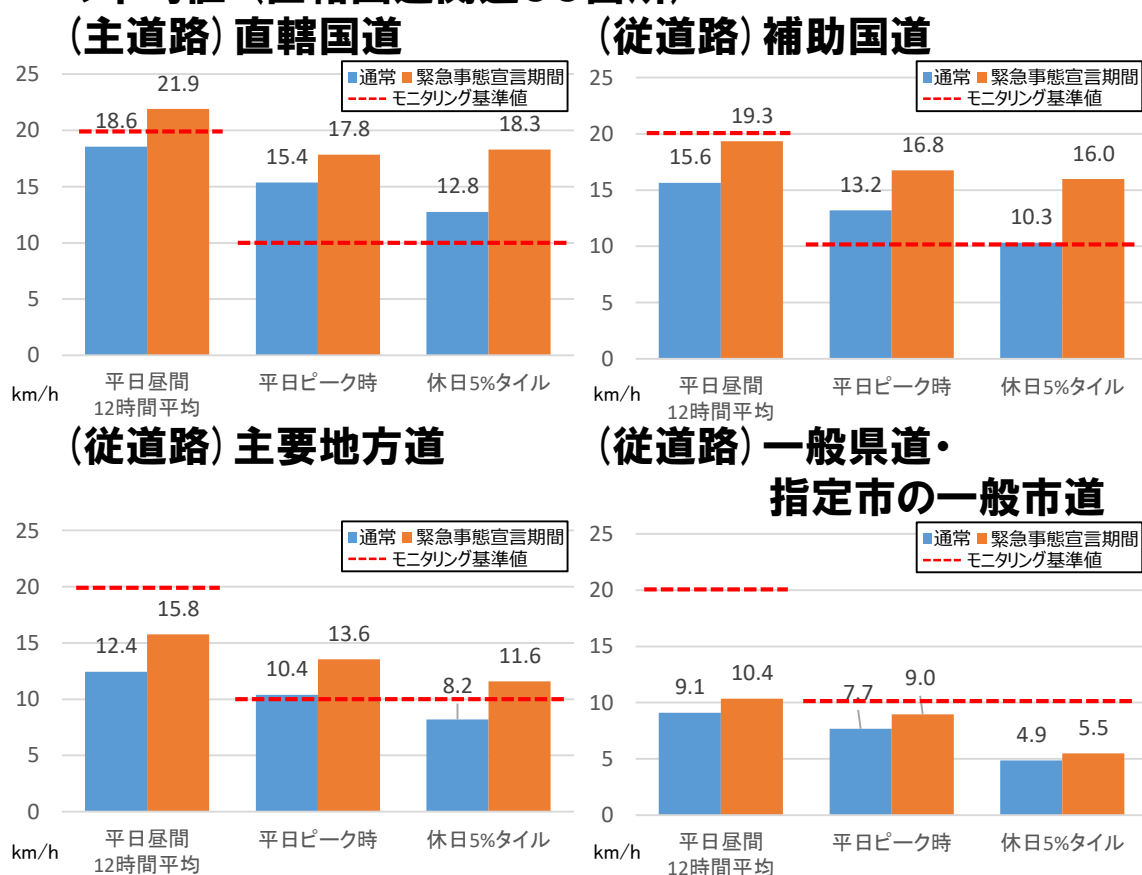
4-3 主要渋滞箇所におけるモニタリング指標の適合状況(直轄国道関連)

○直轄国道の主要渋滞箇所99箇所のモニタリング指標の平均値は、コロナ期間に2~4割程度向上。
 ○道路種別別にみても、いずれの種別もモニタリング指標の平均値は向上している。これにより、主道路となる直轄国道の平均値はいずれもモニタリング指標を満たすようになった。一方、従道路となる補助国道や県道では平均値が向上しているものの、平均値は平日昼間12時間平均などでモニタリング指標を下回る状況。

○主要渋滞箇所のモニタリング指標の平均値(直轄国道99箇所)



○流入方向別・道路種別別主要渋滞箇所のモニタリング指標の平均値(直轄国道関連99箇所)



■ (参考) モニタリングの指標

指標①	平日昼間12時間の平均旅行速度 【基準値 20km/h】
指標②	平日昼間12時間(7~18時台)のピーク時速度 【基準値 10km/h】
指標③	休日5%マイル速度 【基準値 10km/h】

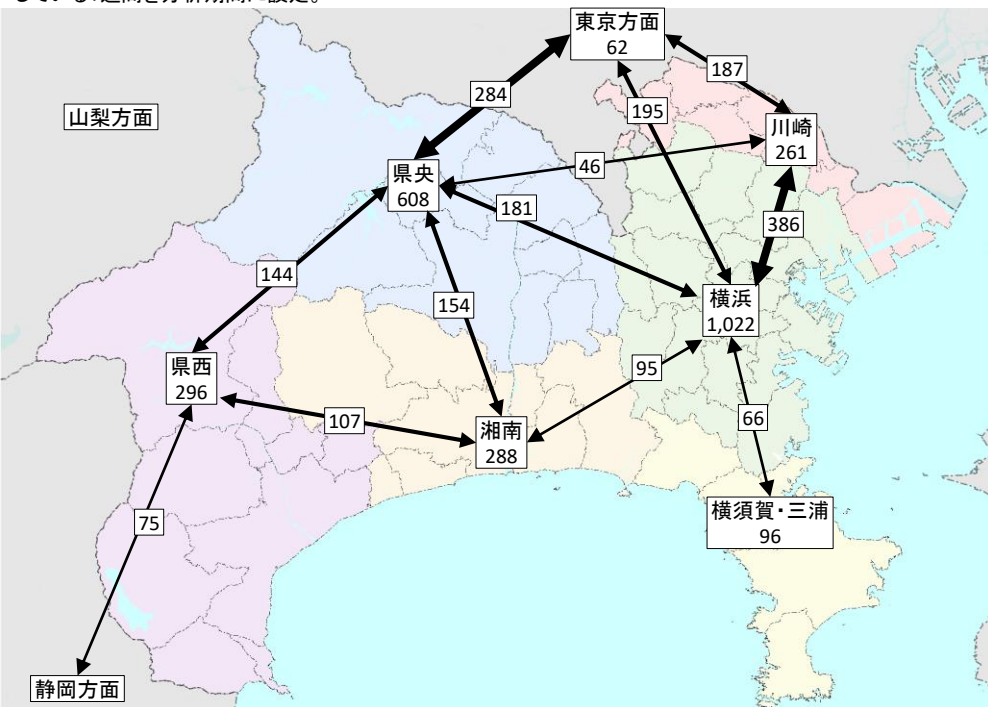
4 新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言期間中の交通状況

4-4 ブロック間の交通流動分析

○神奈川県を通過する交通台数は、緊急事態宣言の発令前後で474万台⇒402万台と15%減少。
 ○ブロック内の交通、ブロック間の交通、県外との交通のいずれも減少傾向にあるが、県西地域～静岡方面、横浜地域～県央地域、県央地域ブロック内などの交通は比較的減少量が小さい結果となった。

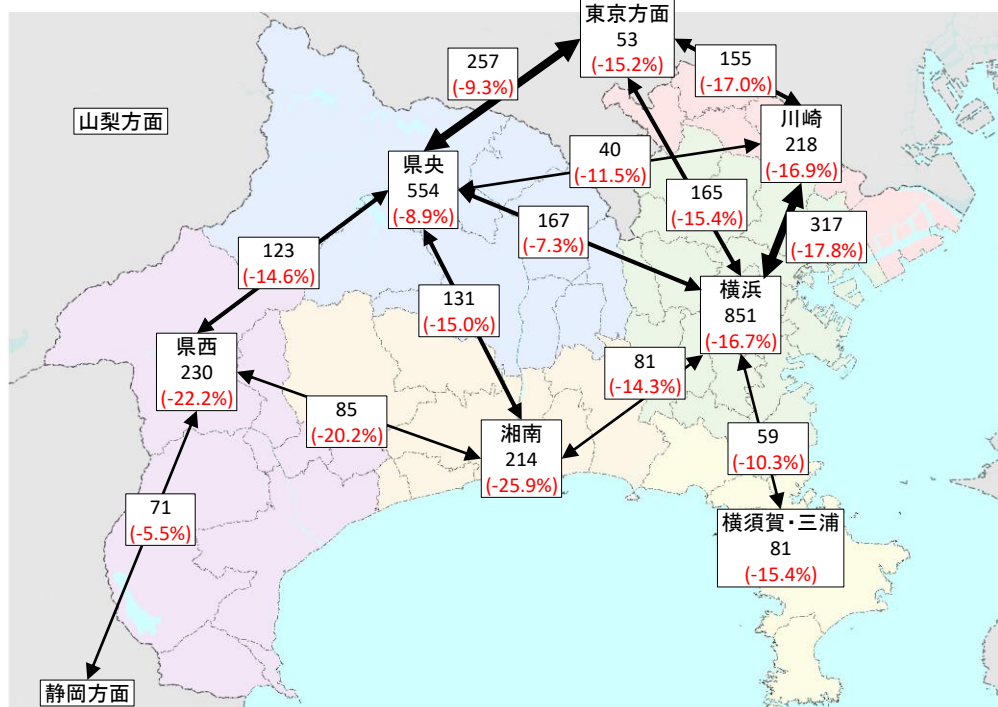
○緊急事態宣言発令前の交通流動割合 (R2.1.27(月)～R2.2.2(日) N=4,743)

緊急事態宣言発令前の期間のうち、コロナ禍の影響が及ぶ前で、祝日の影響を受けず交通量が比較的安定している1週間を分析期間に設定。



○緊急事態宣言発令後の交通流動割合 (R2.4.13(月)～R2.4.19(日) N=4,021)

交通量の対前年比の減少傾向が最も顕著な4月のうち、大型連休の影響を受けない1週間を分析期間に設定。



⇔ 20万台以上 ※台数の単位は千台、四捨五入
 ⇔ 10万台～20万台以下 ※()内は緊急事態宣言発令前との比率
 ⇔ ～10万台以下 ※全台数に占める割合が1.0%未満のものは省略

4 新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言期間中の交通状況

4-5 まとめ

- 今回の委員会では、「緊急事態宣言下における交通状況」を把握し、報告した。
- 次回以降の委員会では、「新しい生活様式における今後の渋滞対策のあり方」を議論していく予定。

緊急事態宣言期間 の交通状況

- 交通量**は平日・休日ともに**減少**。一方、大型車交通量の減少量は小さい。
- 交通量の減少に伴い、**旅行速度も向上**。特に、幹線道路(国道・主要地方道等)で速度向上が顕著。また、交通事故件数も減少。

主要渋滞箇所の モニタリング結果

- 直轄国道における、主要渋滞箇所の**モニタリング基準を満たす箇所は99箇所中30箇所**。残りの69箇所は緊急事態宣言期間においても基準を満たさない。
- 主道路**となる直轄国道では**モニタリング基準を満たす箇所が多い**一方、**従道路**となる補助国道や県道では、未だに**モニタリング基準を下回る箇所が多い**。

今後の方針

- 主要渋滞箇所のモニタリング指標基準を満たさない箇所については、**渋滞状況(区間・時間帯等)**や**渋滞要因**を分析し、状況に応じて対策を検討。
- 継続的に、社会状況の変化を踏まえた主要渋滞箇所の**モニタリングを実施**。